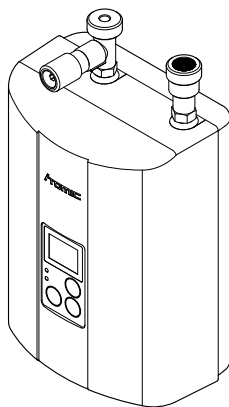


工事要領・取扱説明書

製品名：超小型電気瞬間湯沸器

型 式：EIX-125,232,250C0



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
EIXについて	6
各部名称	6
仕 様	8
工事要領	10
施工前にご確認ください	11
1. 部品の確認	11
2. 設置場所の確認	12
3. 推奨メンテナンススペースについて	13
施工する	14
1. 設置工事	14
2. 配管工事	17
3. 電気工事	18
4. 試運転	19
5. 施工後の確認	21
取扱説明	22
使用方法	23
1. 使用前の準備と確認	23
2. 出湯する	23
3. 各種設定方法	25
4. 表示の切替方法	27
お手入れの方法	28
保守点検項目と実施の目安	28
長期間使用しないときは	28
外装の清掃	29
こんなときは	30
故障かな？と思ったら	30
停電後の対応について	31
エラーコードについて	32
その他の表示について	33
アフターサービス	34
消耗品について	34
補修用性能部品について	34
修理をご依頼の際には	34

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

この製品は以下のような方がお独りでご利用になることを意図しておりません。この製品の安全なご利用方法を理解された保護者、または介護者の補助のもとご利用ください。

・子供 ・当製品の使用において補助が必要な方 ※子供がこの製品で遊ぶことがないようにご注意ください。

警告表示の意味

本書では取り扱いを誤った場合などの危険の程度を次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』を意味します。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『アース工事を行うこと』という指示です。)

重要事項:必ずお守りください

⚠警告



アース(D種接地)工事を確認してください。
アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。



定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。
故障、火災の原因となります。

必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。
万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。

機器本体は必ず給湯、給水接続口を上向きとし、壁面に垂直に設置してください。
漏水、故障、発火、漏電の原因となります。

⚠ 警告	
	本製品は800Ω・cm以上の抵抗率(比抵抗)を有する水道水でご使用ください。 感電のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に 直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	屋外に設置しないでください。 感電や故障の原因となります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴 室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセ ント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。

⚠ 注意	
	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所 には設置できません。 凍結により破損、漏水の原因となります。
	機器内部にエアが入るような配管接続をしないでください。 故障の原因となります。
	給湯配管は鳥居配管しないでください。 誤動作、故障の原因となります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 井戸水など使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、感電の原因 となります。
	給水接続配管は工具なしで着脱できる配管(ホースなど)で接続しないでください。 漏水、故障の原因となります。

⚠注意

規定の給水圧力（静止圧）にてご使用ください。給水圧力が0.4MPaを超える場合には減圧弁を設け、調整してください。
誤動作、故障の原因となります。

満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。
落下の原因となります。

機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉・砂・シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。
故障や漏水の原因となります。

給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。
漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。
漏水の原因となります。

飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

床面に防水、排水処理を施してください。
漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

他所との同時使用により水压変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
やけどのおそれがありますので、水压変動を抑えた配管設備にしてください。（分岐場所を遠くにするなど）

給湯配管距離は最長で6m以内としてください。（推奨2m以内）
破損や故障の原因となります。

満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

給水温度は必ず45℃以下でご使用ください。
誤動作、故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。
感電、発火のおそれがあります。

EIXについて

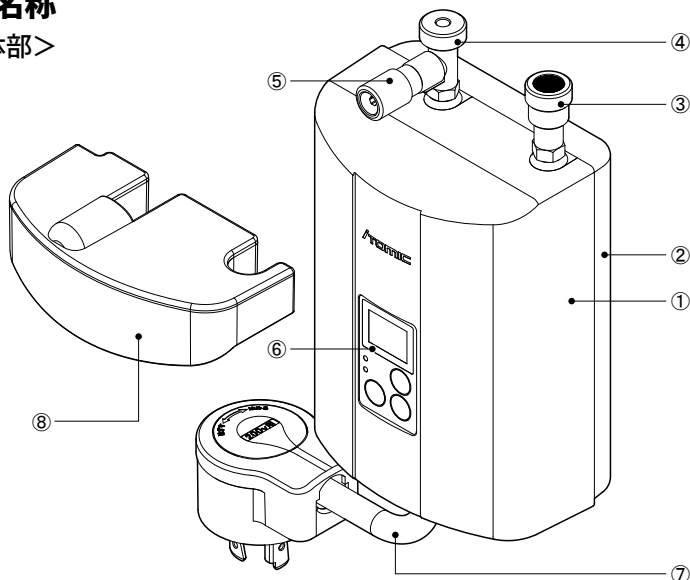
EIXは手洗いに特化した超小型の壁掛型電気瞬間湯沸器です。

流量と水温を検知し、昇温に必要なヒーターへの電力供給を制御して、設定した温度で出湯するように水を加熱します。

(ただし、電圧降下などによる電圧変動、ヒーターの発熱量の差、使用流量、給水温度などにより設定温度を下回る場合があります)

各部名称

<本体部>

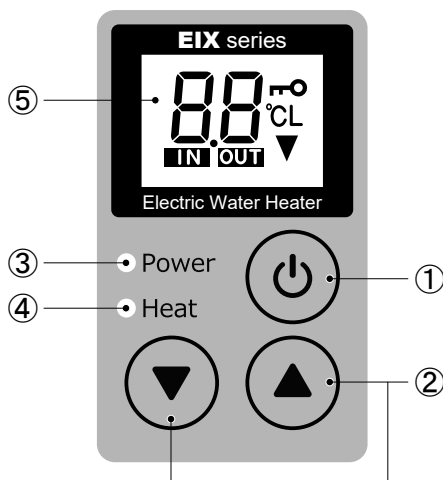


①正面ケース	②本体取付具 (付属品)	③給水接続口 (G1/2 オネジ) ※逆止弁内蔵
④給湯接続口 (G1/2 オネジ)	⑤安全弁 (設定圧力1MPa)	⑥操作部 (次ページ参照)
⑦電源コード (1m)	⑧ドレインホルダー (付属品)	

共通項目

EIXについて

<操作部>



①運転スイッチ	運転のON／OFFを切り替えるときに使用します。
②アップ／ダウンキー	設定値を上下させるときに使用します。
③運転ランプ(緑)	機器の運転中に点灯します。
④通電ランプ(赤)	ヒーター通電中に点灯します。
⑤表示部	現在温度、設定温度、流量などのパラメータを表示します。

液晶部の▼表示について

流量が加熱能力を上回った場合には、設定温度表示の右下に▼が点滅表示します。設定した温度で給湯したい場合には▼が消えるまで流量を絞る必要があります。



仕 様

型 番	EIX-125C0	EIX-232C0	EIX-250C0
標 準 電 源	単相100V	単相200V	
定格消費電力 (kW)	2.5	3.2	5.0
定 格 電 流 (A)	25.0	16.0	25.0
発生熱量 (MJ/h)	9.0	11.5	18.0
号 数 換 算 (※1)	1.4★	1.8	2.9
設定温度範囲 (°C)	約20～38		約20～45
使用流量範囲 (L/min)	約1.5～7.0(※2)		
満 水 質 量 (kg)	約2.0		
給 水 方 式	先止め式		
使用圧力(静止時) (MPa)	0.1～0.4		
一次側使用水温 (°C)	45以下(凍結しないこと)		
設置環境温度 (°C)	0～40(凍結しないこと)		
機 能	連続出湯制限機能(※3)		
本 体 寸 法	幅135×高さ185.5(※4)×奥行91.5mm		
設 置 場 所	屋内		
安 全 装 置	過昇圧防止スイッチ(※5)、異常時主回路遮断装置、温度センサー異常検出、給水温度異常検出、ヒーター断線検出、制御リレー異常検出		

(※1) … 号数とは、水温から25°C上昇させた時の毎分の出湯量を表します。

(※2) … 使用流量範囲の最低流量以下では動作しません。

(※3) … 詳細はP.24参照。

(※4) … 給水、給湯接続金具、ドレインホルダーの高さは除く。

(※5) … 1.5MPaで作動し、ヒーターへの通電をストップします。

★EIXシリーズは流量が1.5L/minにならないとヒーターに通電しません。また、EIX-125C0は冬場(給水温度5°Cとする)は32°Cのお湯を給湯することができません。給水温度5°C・流量1.5L/minの場合、給湯可能な最大温度は約29°Cとなります。

共通項目

MEMO

工事要領

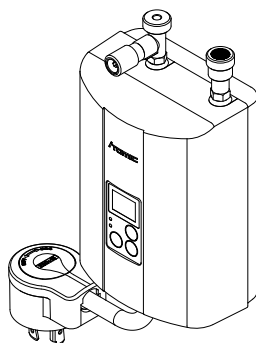
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

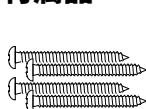
1.部品の確認

【製品に同梱されています】

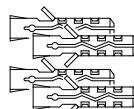
EIX本体



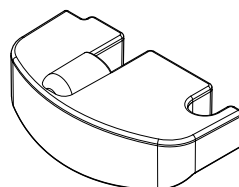
付属品



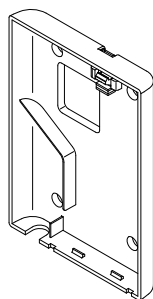
木ネジ×4



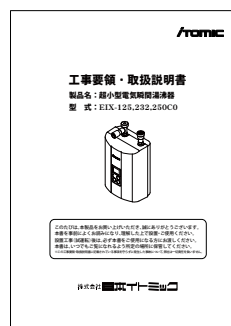
ナイロンプラグ×4



ドレイン
ホルダー



本体取付具



工事要領・取扱説明書×1
当冊子です。工事終了後は湯沸器を
ご使用になる方へお渡しください。

【お客様にて必ずご手配ください】

お客様手配品(→P.17「標準配管図」参照)

- ① 水栓
混合水栓、単水栓、自動水栓
- ② ステンレスフレキ管
給水および給湯配管接続に必要です。

- ③ パッキン、シールテープ
配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ④ 止水栓
流量の調節やメンテナンス等の際に給水を止めるため必要です。
- ⑤ 漏電ブレーカ
万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)

上記手配品を必ずご用意ください。

関連商品

- ⑥ 一軸型減圧弁 いちじく (iJG-K)
給水圧力が0.4MPaを越える場合は、必ず取り付けてください。

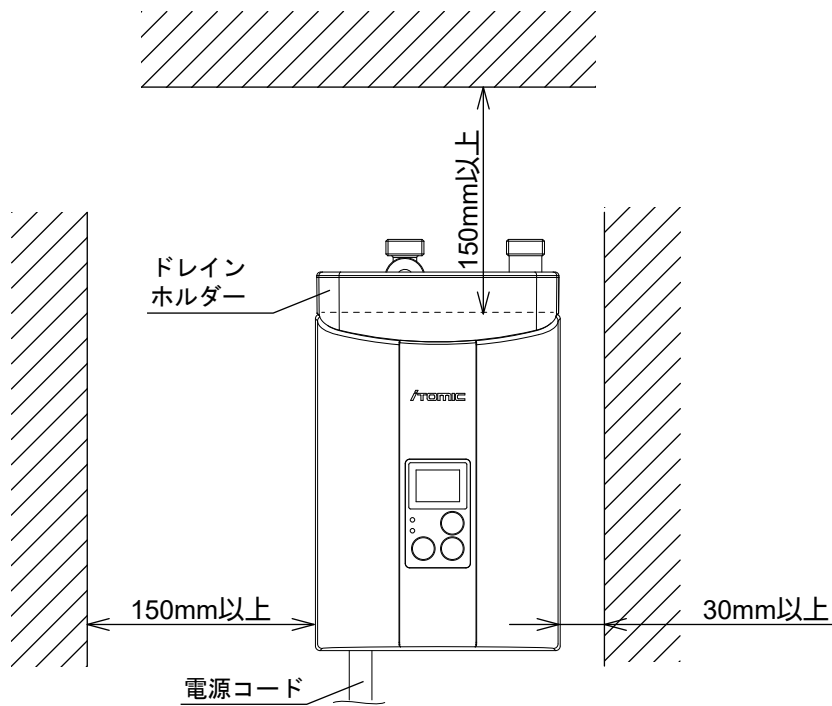
2.設置場所の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結する場所ではご使用になれません。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ (P.13参照) メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
配管距離	給湯配管距離が最長6m以内で収まる場所ですか？ (推奨2m以内) 給湯場所が機器より離れすぎている場合は動作が鈍くなり、お湯の待ち時間が長くなります。配管は必ず同一階、最長6m迄としてください。	☐
取付壁面	本体を取り付ける場所は垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1MPa～0.4MPaの間になっていますか？ 湯沸器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品の一軸型減圧弁 いちじく (iJG-K) を必ず取り付けてください。	☐
電圧	定格電圧の±10%以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の±10%以内の電圧であることを確認してください。	☐

3.推奨メンテナンススペースについて

機器のメンテナンスをする際に必要なスペースは以下の通りです。
機器前方はボタン操作を行うために開放状態とし、下方は電源コードを考慮して任意のスペースを確保してください。



施工する

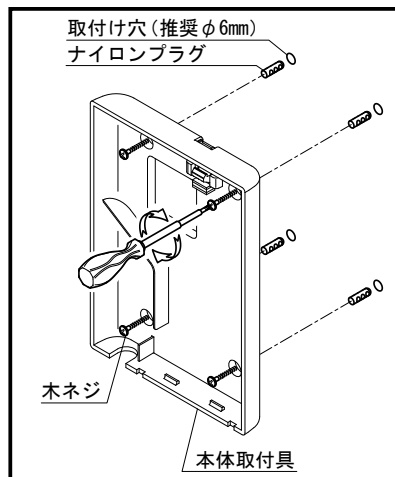
1.設置工事

※必ず給湯、給水接続口を上向きにして、壁面に垂直に設置してください。

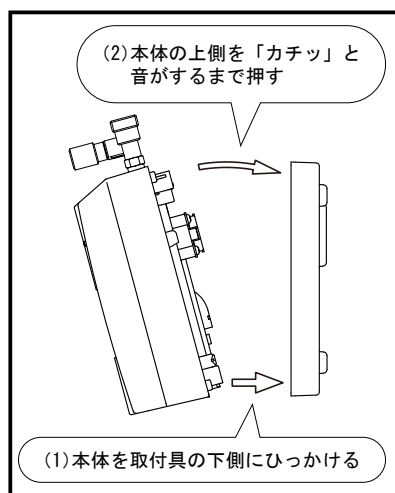
※本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。

※固定に使用する取付ネジは壁面の仕様(厚みなど)を確認後、適正なネジを選定してください。

- ①機器を取り付ける壁面にネジ用の印をつけます。
- ②壁面にドリルで穴(推奨φ6mm)を開け、付属のナイロンプラグを打ち込みます。
- ③付属の木ネジで本体取付具を固定します。

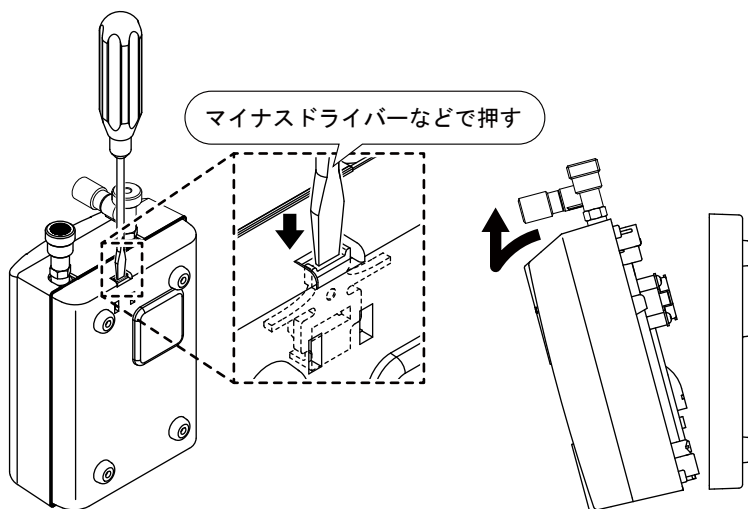


- ④湯沸器本体を本体取付具に置き、本体上側を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

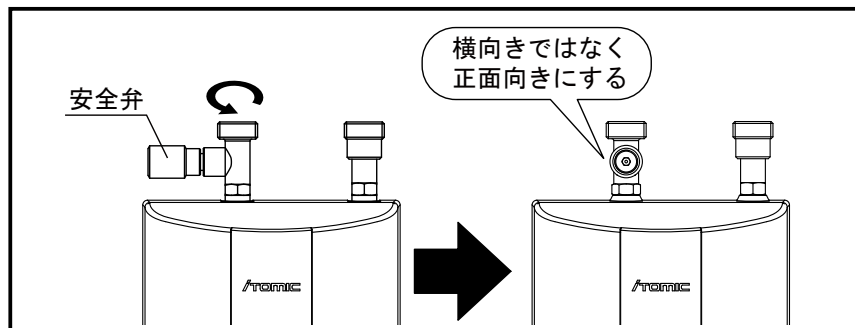




取り外す場合は、本体取付具の上部にある凹の部品をマイナスドライバーなどで押し込み、本体を支えながら取り外します。



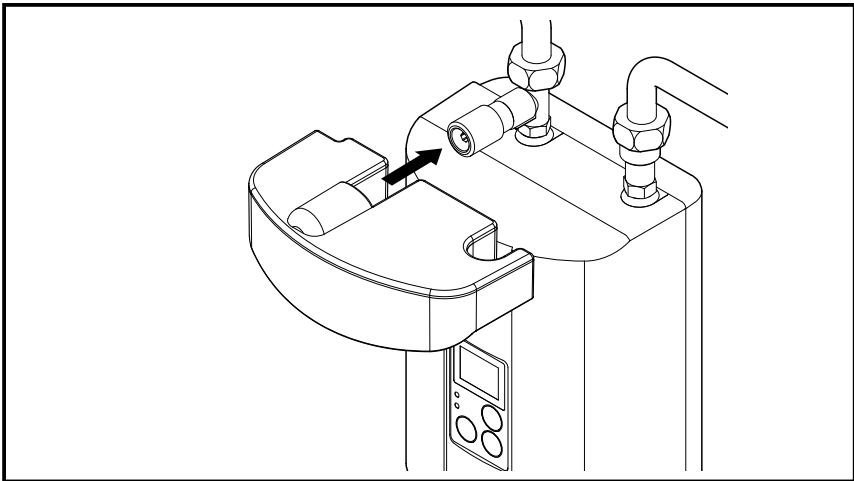
⑤安全弁が正面を向くように給湯接続口を回して調整します。



2.配管工事

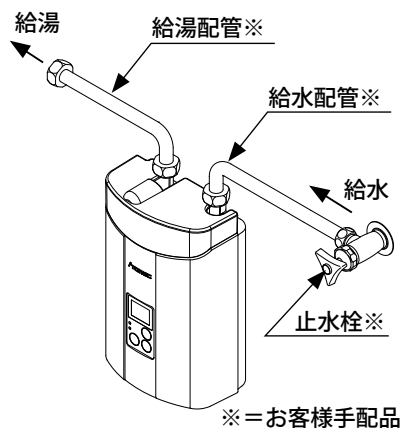
配管工事はP.17『標準配管図』を参照し行ってください。

- ①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。
(※給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく (iJG-K)』を必ず取り付けてください。)
- ②給水および給湯接続口に取り付けられているキャップを取り外した後、配管と接続してください。また、給湯接続口に取り付いている安全弁は正面の向きになるように配管してください。
- ③ド레인ホルダーを安全弁に被せるように正面からはめ込みます。

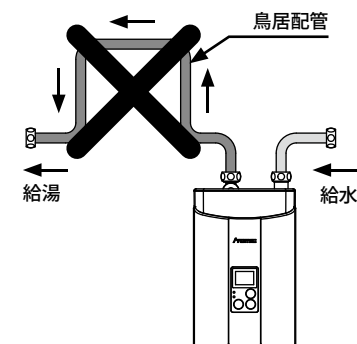


ド레인ホルダーの設置には、安全弁がしっかり正面を向いている必要があります。

標準配管図

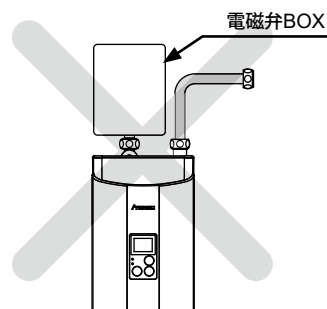
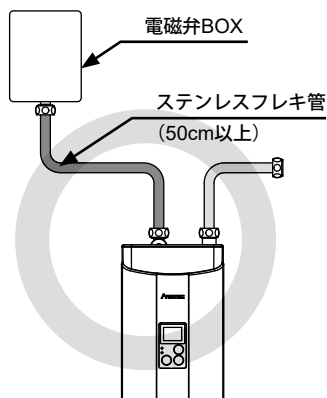


給湯配管は鳥居配管
しないでください。
破裂、故障の原因となります。



図はイメージです

自動水栓用の電磁弁BOXは直接接続しないでください。
故障や、繰り返し使用時に設定温度より高い温度のお湯が出る原因となります。



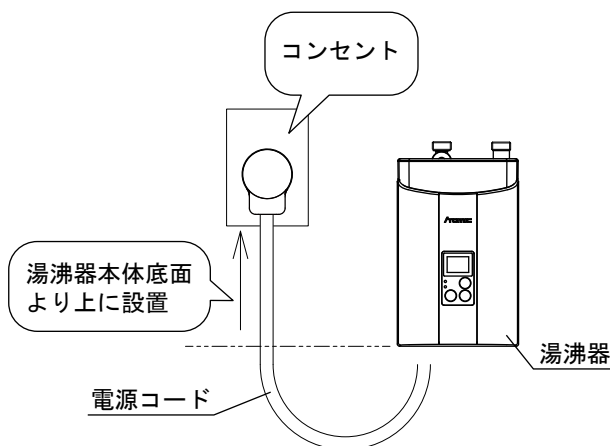
自動水栓用の電磁弁BOXと接続する場合はステンレスフレキ管(推奨50cm以上)を介して接続してください。

3.電気工事

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

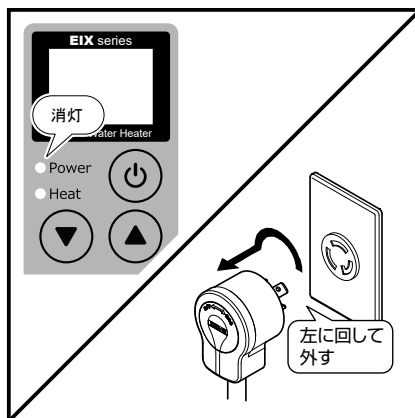
注意！

- 電源コードが破損した場合は、技術者による交換が必要となります。ご依頼はアフターサービス窓口までご連絡ください。
- 漏水などにより電源コードを伝った水が浸入しないよう、コンセントは湯沸器本体底面より上に設置してください。

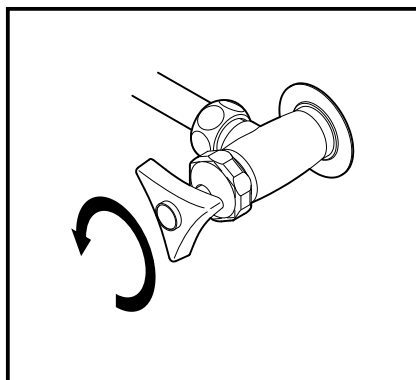


4. 試運転

- ① 運転ランプ(緑色)が消灯、電源プラグが外れていることを確認してください。



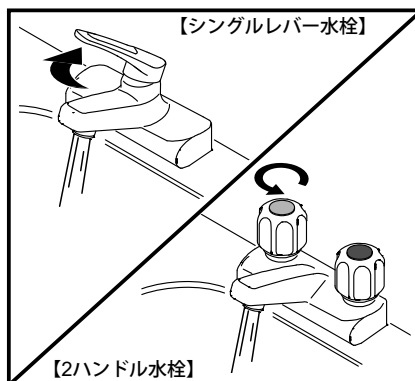
- ② 止水栓を開いてください。



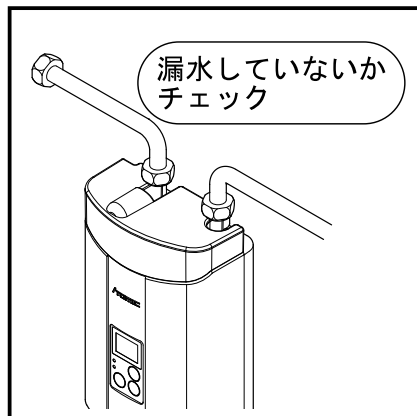
- ③ 止水栓を全開にしてから水栓の湯側を全開にしてください。

- ④ 水栓を10回程度開閉させて配管内部、機器内部の空気を完全に抜いてください。(湯沸器および配管内が満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。)

- ⑤ そのまましばらく水を出し続け、配管内の不純物などを流し切ってください。



- ⑥ 水栓を閉じ、各配管接続部分から漏水がないかチェックしてください。



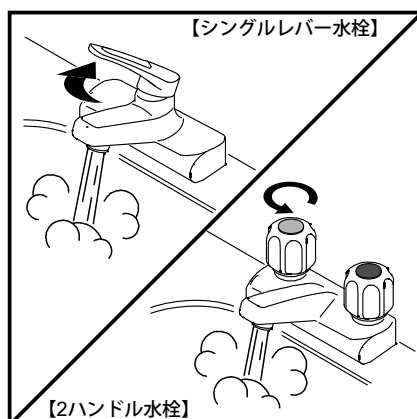
- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

- ⑧ 運転スイッチを押して運転状態にします。(緑色のランプが点灯します)



- ⑨ 水栓の湯側を開き、毎分1.5L以上の流量で30秒以上流し続けてください。水温が上昇するのを確認できれば正常です。(P.24ワンポイントをご参照ください)

水栓を開いても流量が少ない場合(毎分1.5L未満)では通電しないため、水温が上昇しません。必ず仕様表(P.8)に記載されている使用流量範囲内でご使用ください。



5.施工後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	湯沸器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐
その他	ドレインホルダーに水が溜まっていませんか？ 溜まっている場合は、P.31こんなときはをご参照ください。	☐

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1.使用前の準備と確認

ご使用前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
本体まわり	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐
	安全弁が吹き出していないですか？	☐

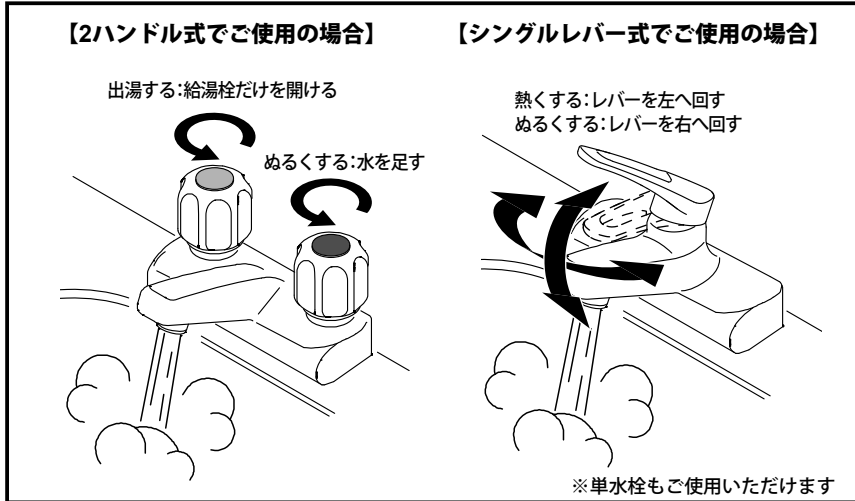
2.出湯する

①P.19『4.試運転』の①～⑥を参照し、湯沸器に給水してください。

②電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを押して運転状態にします。(緑色のランプが点灯します)



③水栓を操作して、給湯してください。



- EIXには通水量を検知するフローセンサーが組み込まれており、水栓を開いて流した水量を検知することでヒーターへの通電を開始し、お湯を沸かします。
- 一次側の電源をONにしたあとの1回目の運転では、毎分1.5L以上の流量で30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。
- 使用中に出湯量（流量）が毎分1.5L未満になるとヒーターへの通電がストップし、お湯になりません。他の給水による水圧変化や水栓の絞りすぎにはご注意ください。
- 本製品には水栓の閉め忘れ等による無駄なヒーター加熱の予防として、3～30分間（初期値30分）で通電を止める連続出湯制限機能が搭載されています。設定された時間（分）以上の連続出湯はできませんが、水栓を開閉することで設定された時間（分）のカウントをリセットすることができます。（設定方法はP.26）
- 夏場などで長期間お湯を使用しない場合や、単水栓を使用した場合で水のみをご使用したいときは運転をOFFにして、電源プラグをコンセントから外してください。

3.各種設定方法

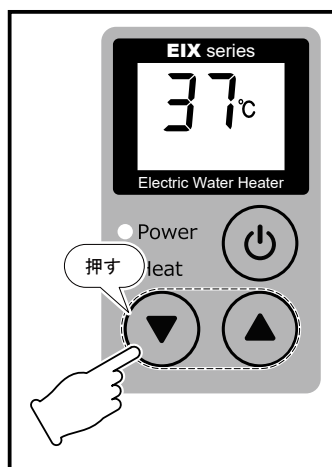
設定温度を変更する

設定温度は操作部のアップキーまたはダウンキーを利用して変更します。

機種ごとに定められた設定温度の範囲内で、1℃刻みで設定可能です。

アップキー:押すごとに設定温度を1℃上げます。

ダウンキー:押すごとに設定温度を1℃下げます。



スイッチロック

いたずらや誤操作を防止するため、操作キーを全てロックさせる機能です。運転中、運転停止中どちらでもロックさせることが可能です。

※スイッチロック中にエラーが発生した場合には自動的にロックが解除されます。

また、停電からの復帰後はスイッチロックが継続されます。

- ①運転スイッチを3秒間長押しします。
鍵マーク表示が出て操作をロックします。

スイッチロックを解除する場合は、再度運転スイッチを3秒間長押ししてください。



最大出力値・連続運転ON時間を変更する

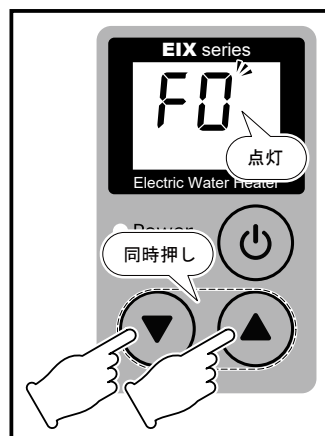
最大出力値と連続運転ON時間を変更することが可能な機能です。(Fモード)

変更する場合は、下記の手順に従ってください。

- ① アップキーとダウンキーを同時に3秒以上長押しします。F0が点灯したら設定可能です。
- ② アップキーまたはダウンキーを押すことで「F0」「F1」「F2」が順番に表示されます。

各モードの意味

F0: 設定値初期値に戻す
F1: 最大出力値設定変更
F2: 連続運転ON時間変更



※ 運転ON (緑ランプ点灯) / 運転OFF (緑ランプ消灯) のどちらの状態でも設定することが可能です。

〈Fモードの各種設定変更方法〉

- F0の設定 (設定を初期値に戻す場合)

F0が表示された状態で運転スイッチを押すと、各種設定が初期値(工場出荷時)になります。画面表示は設定温度表示画面に戻ります。



- F1の設定 (最大出力値を変える場合)

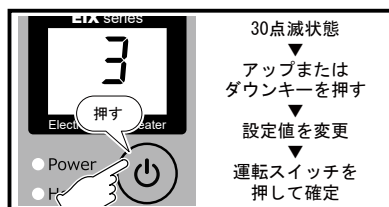
F1が表示されている状態で運転スイッチを押すと、機種ごとの最大出力値が点滅します。アップキーまたはダウンキーを押して、0.5kWずつ数値を変更可能です。運転スイッチを押すと確定し、設定温度表示画面に戻ります。



※3kWに設定した場合

- F2の設定 (連続運転ON時間設定変更)

F2が表示されている状態で、運転スイッチを押すと30 (初期値・30分設定) が点滅します。アップキーまたはダウンキーを押して、1ずつ (1分ずつ) 数値を変更可能です。運転スイッチを押すと確定し、設定温度表示画面に戻ります。

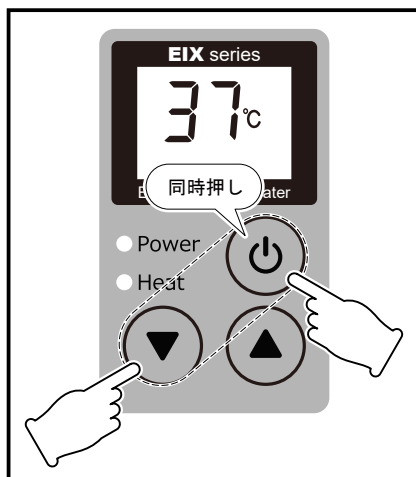


※3分に設定した場合

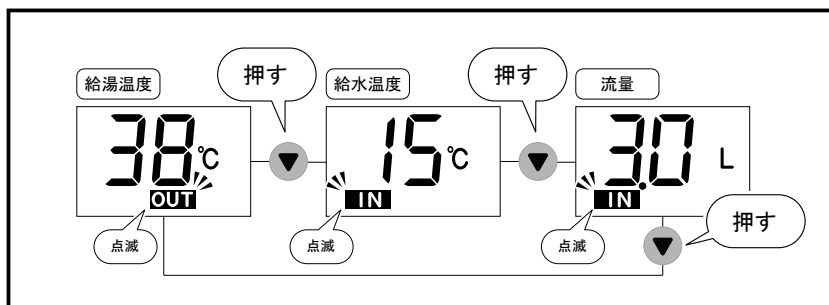
4.表示の切替方法

本機器には、フローセンサー（流量）、給水サーミスタ（給水温度）、給湯サーミスタ（給湯温度）が搭載されており、以下の手順で各種情報を確認することができます。

- ① 運転スイッチとダウンキーを同時に3秒以上長押しします。



- ② 現在状況の確認モードに移行し、現在の給湯温度を表示します。
 ダウンキーを押すたびに表示が切り替わり、以下の順に表示されます。
 給湯温度→給水温度→流量→給湯温度→・・・



- ③ 運転スイッチを押す、または30秒間無操作で初期画面に戻ります。

お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
重要 安全弁の確認	ドレインホルダーに水が溜まっていないか確認してください。	1回／日
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。 トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
漏水全般についての点検	湯沸器本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日

凍結による破損防止について

あたたかい地域でも冬期は湯沸器や配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。

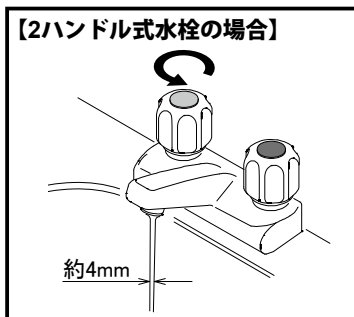
そのような事故を防止するために必要な処置を施してください。

なお、凍結による破損事故は保証期間内であっても保証の対象とならず、有料修理となります。

外気温が極端に低くなる（凍結が予測される）日や、それ以上の外気温でも風がある日、低温注意報が発表された際などは以下の処置をしてください。

水栓のお湯側を少量の水（1分間に約400ml、吐水径約4mm）が流れ続けるように調節してください。

※水の流量が1.5Lを超えるとヒーター通電され、通常の運転状態となりますので調節にはご注意ください。

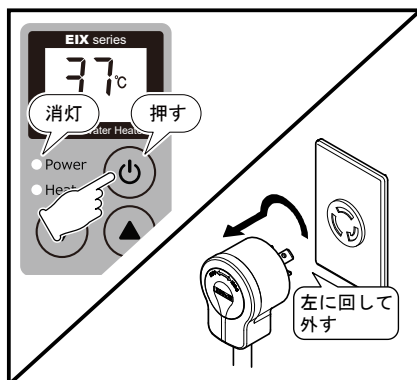


長期間使用しないときは

○凍結のおそれがない場合

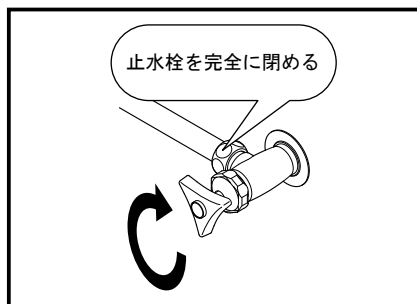
①運転スイッチを押して運転OFF状態にします。(緑色のランプが消灯します)

②電源プラグを抜きます。



③止水栓を閉め、給水を止めてください。

※水のみでご使用を続ける場合には、止水栓を開けたままにしてください。

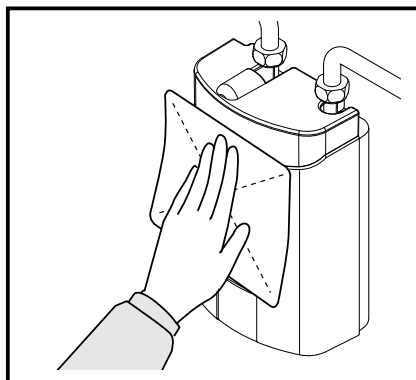


○凍結のおそれがある場合

湯沸器本体を取り外し、凍結しない場所で保管してください。

外装の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。
ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、P.35故障状況シートに記載の上、アフターサービス窓口までご連絡ください。

状況	ご確認ください	対処方法
水もお湯も出ない または出が悪い	断水ではありませんか？	断水中は使用できませんので、断水が終了するまでお待ちください。断水が終了した後、お湯が濁っているような場合には濁りがなくなるまで出し続けてください。
	止水栓が閉まっていますか？	閉まっていたら開けてください。
	給水圧力が低すぎませんか？	湯沸器が適切に運転するためには、給水圧力が0.1MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は管理技術者の方へご相談ください。
	配管は正しく行われていますか？	給水圧力が適切でも配管方法によって出が悪くなる場合があります。配管が正しく行われているか管理技術者の方へご相談ください。
	配管が凍結していませんか？	凍結する場所ではご使用できません。
お湯が出ない (水のまま、またはぬるい)	停電ではありませんか？	電気の復旧をお待ちください。
	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	一次側の漏電ブレーカをONにしてください。漏電や電気容量オーバーの可能性がある場合は使用せずに管理技術者の方へご相談ください。
	運転がOFFになっていませんか？	運転をONにしてください。
	電源プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	電源が入った直後ではありませんか？	電源が入った直後は、すぐお湯になりません。P.19『試運転』を参照し、試運転を行ってください。
	給水圧力が低すぎませんか？	湯沸器が適切に運転するためには、給水圧力が0.1MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は管理技術者の方へご相談ください。
	出湯量(通水量)が少なくありませんか？	湯沸器が適切に運転するための最低出湯量(通水量)は1.5L/min以上です。これ未満の場合、運転が行われません。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。

状況	ご確認ください	対処方法
お湯が出ない (水のまま、またはぬるい)	電圧を間違えていませんか？	200Vの機種に100Vを入れると能力が低下し、ほとんどお湯になりません。電圧を確認してください。
	給水温度が低すぎませんか？	機器能力以上の出湯はできません。P.8『仕様』をご確認ください。
	出湯量（通水量）が多すぎませんか？	機器能力以上の出湯はできません。P.8『仕様』をご確認ください。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。
	水栓が故障していませんか？	故障の場合は水栓メーカーの販売店へご相談ください。
濁ったお湯が出る	断水や水道工事の直後ではありませんか？	濁りがなくなるまで出し続けてください。
	配管が腐食していませんか？	配管のサビ等による赤水が続く場合は管理技術者の方へご相談ください。
漏水している	湯沸器本体からの漏水ですか？	止水栓を閉め、プラグを抜いてください。アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からの漏水ですか？	配管接続部を締め直してください。
ドレインホルダーに水が溜まっている	給水圧力が高くありませんか？	給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく（iJG-K）』を必ず取り付けてください。
使いはじめに設定温度より高い温度のお湯が出る	エラーコード（E1またはE9など）が出ていませんか？	エラーコードが出ている場合には、P.32『エラーコードについて』を参照し、対処してください。エラーコードが出ていない場合でも設置環境や配管などの影響により、繰り返し使用時に設定温度よりも高い温度で出湯する場合がありますが、故障ではありません。

これらの対処を行っても改善されない場合は、アフターサービス窓口までご相談ください。

停電後の対応について

停電後の最初の運転では、毎分1.5L以上の流量で30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。

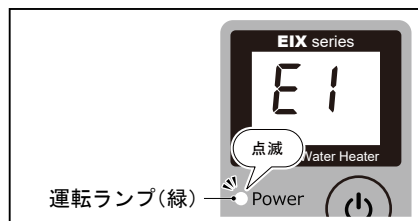
運転中に停電が起きた場合は運転ON状態で、運転停止中に停電が起きた場合は運転OFF状態で復帰します。

また、設定温度やスイッチロックの機能も維持したまま復帰します。

エラーコードについて

湯沸器に異常が発生すると運転ランプ(緑)が点滅し、エラーコードが点滅表示されます。下表を参照し、対処してください。

対処後にもエラー発報が頻発・連続する場合には、アフターサービス窓口にご連絡ください。



エラーコード	機器の状態	対処方法
E1	給水温度が高くなっています。 (45℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。
E2	給水温度もしくは給湯温度が高くなっています。 (50℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。
E3	ヒーターが異常加熱している可能性があります。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E0 E4	給水サーミスタの故障の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタの故障の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E6	機器内部の圧力が異常上昇しています。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E7	ヒーターが異常加熱している可能性があります。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	機器の状態	対処方法
E8	電圧を間違えている、またはヒーターが断線している可能性があります。	200Vの機種に100Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。 ヒーターが断線している場合は部品交換が必要になりますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E9	電圧を間違えている可能性があります。	100Vの機種に200Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。
EE E-	機器のプログラムエラーの可能性があります。	電源プラグを抜いて、再度差し込んだ後に運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。
EF	機器内部にエアが残っている可能性があります。	1分間程度水を流してから運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。

その他の表示について

上記のエラーコード以外にランプが点滅している等、通常運転状態とは異なる表示が出ている場合にはアフターサービス窓口にご連絡ください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は故障時に交換が可能な消耗部品です。劣化による動作不良などが起きた際に、弊社アフターサービススタッフにて交換を推奨している部品となります。

(機器内部は精密となっており、お客様ご自身での交換はできません。)

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
水量センサー	設置日より 5年～	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。
安全弁		
ヒーターカートリッジ		
正面ケース	-	※水道水中のミネラル分が固着したものを。
操作液晶部		
本体取付具		

※上記以外でもパッキン類や電気部品の交換が必要になる場合や、水管などの樹脂成形部品がウォーターハンマーなどの外的要因によって破損した場合は水管ユニットの交換が必要になることがあります。

補修用性能部品について

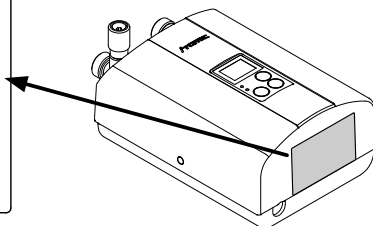
本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.36の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

<EIX下面>

保証票		電気瞬間湯沸器	
型番		電源	
最高使用圧力		周波数	
伝熱面積		消費電力	
満水質量		屋内	
使用水压			
製造年月			
保証期間			
製造番号			
株式会社日本イトミック			
アフターサービス・お問い合わせ TEL 0570-011039			



アフターサービス窓口

TEL 〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)
0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご確認ください。

受付時間：24 時間 365 日（営業時間：8：45～17：45）

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03（3621）2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット 〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX 〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.36 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。（裏表紙に記載）

故障状況シート	
貴 社 名	
ご担当者名	
ご 住 所	
T E L	
F A X	
製 品 型 番	EIX-
電 源 ・ 電 力	単相 V kW
製 造 番 号	
設 置 場 所	
保 証 期 限	
状 態	

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （２）Ｏリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。
- ※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、温水器の取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。
- ※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、温水器等の取扱説明書「アフターサービス」の項をご覧くださいか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 **日本イトミック**

本社・営業本部 …… TEL : 03 (3621) 2121 (代)

FAX : 03 (3621) 2130

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2

東京スカイツリーイーストタワー 24F

ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 …… TEL : 03 (3621) 2760

FAX : 03 (3621) 2160

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



一般電話・公家電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。

※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。

その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。

※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お電話ください。

関東地区 …… TEL : 03 (3621) 2161

FAX : 03 (3621) 2163

《担当エリアと営業所》

北海道地区 …… TEL : 011 (615) 6681

FAX : 011 (615) 7004

北海道営業所

〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)

担当エリア：北海道地区全域

東北地区 …… TEL : 022 (357) 0848

FAX : 022 (357) 0847

東北営業所

〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21

担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 …… TEL : 03 (3621) 2121

FAX : 03 (3621) 2130

(株) 日本イトミック 本社

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)

担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 …… TEL : 052 (222) 2561

FAX : 052 (222) 2559

中部営業所

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)

担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 …… TEL : 06 (7177) 4949

FAX : 06 (7177) 4948

関西営業所

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F

担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 …… TEL : 082 (240) 1361

FAX : 082 (240) 1363

中国営業所

〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)

担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 …… TEL : 092 (481) 3911

FAX : 092 (481) 3930

九州営業所

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5

担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。